

1 急性呼吸器感染症サーベイランスについて

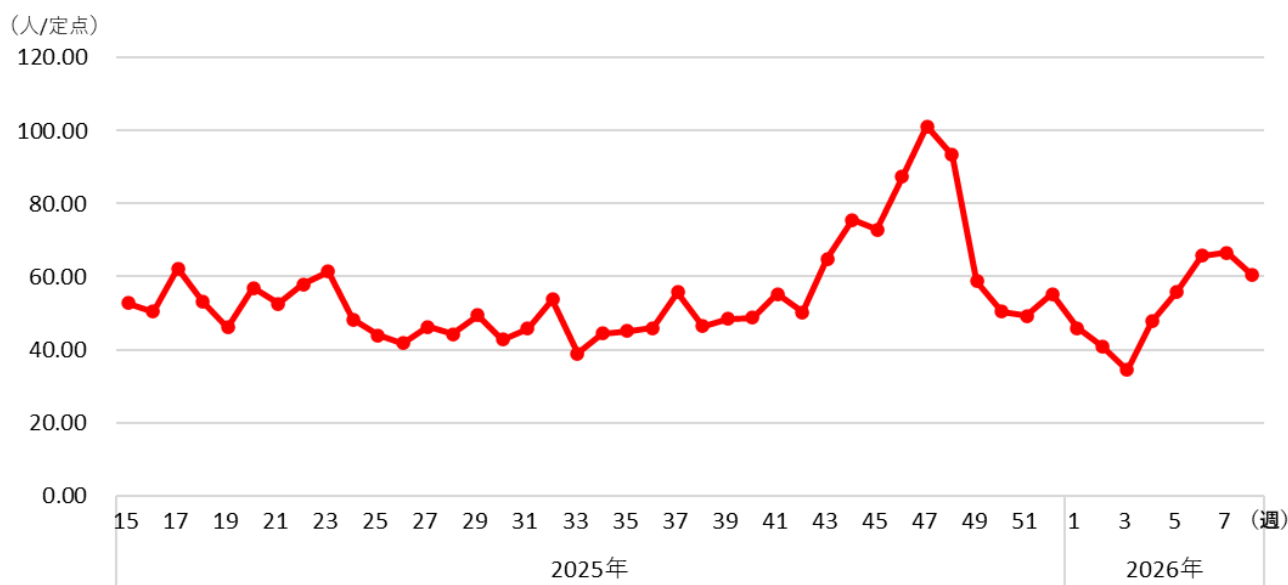
<目的> 流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向を把握する
新興・再興感染症が発生した場合に迅速に探知する

<方法> 感染症法上の5類感染症の定点把握対象疾患として毎週報告される
2025年4月7日（第15週）から開始

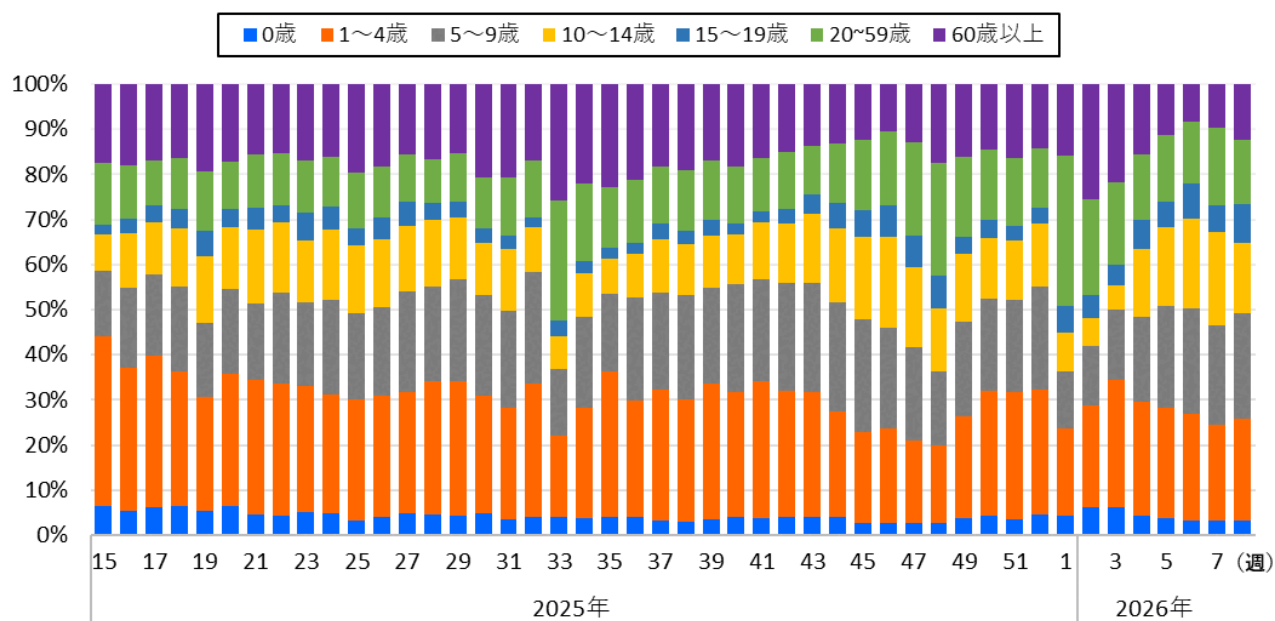
<症例定義> 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つの症状を呈し、
発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、RSウイルス感染症や咽頭結膜熱といった呼吸器症状を呈する他の定点把握疾患については、上記の症例定義に合致した場合には、急性呼吸器感染症としても重複して報告される

2 急性呼吸器感染症の定点あたり患者報告数（2025年第15週～2026年第8週）

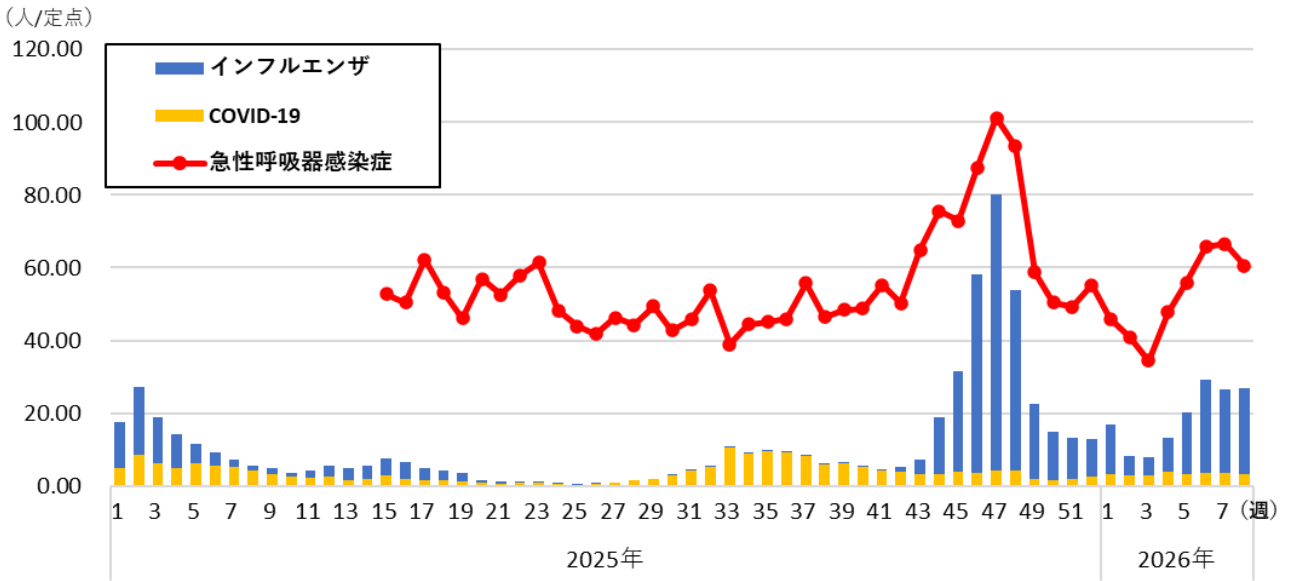


3 急性呼吸器感染症の年齢構成

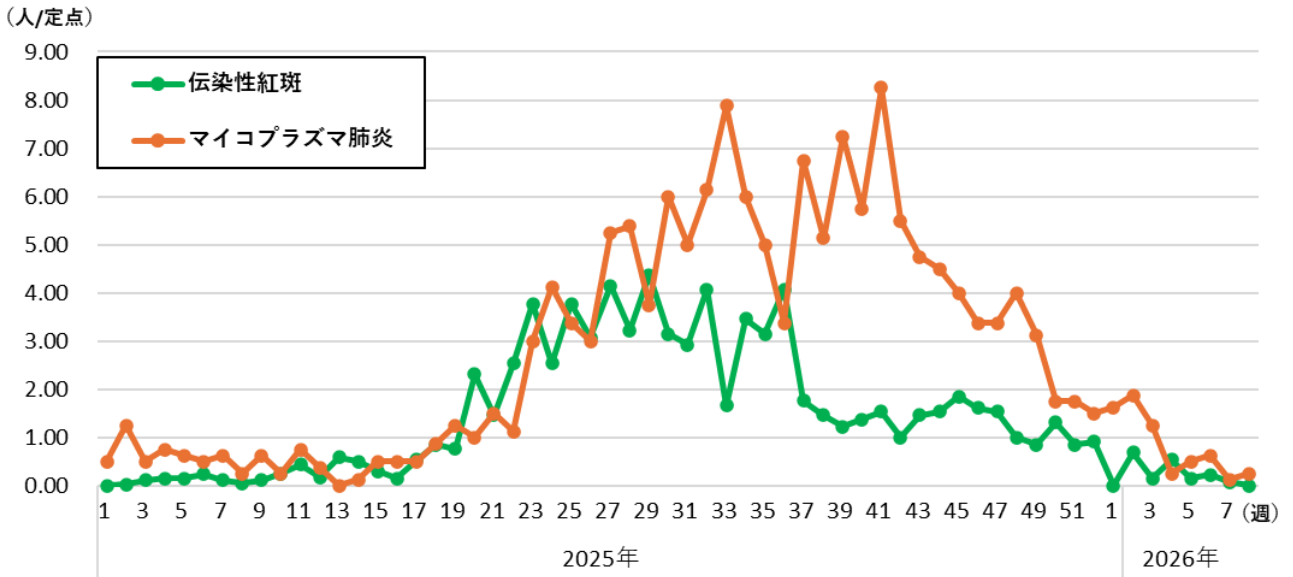


4 急性呼吸器感染症と他疾患との比較

(1) 急性呼吸器感染症、インフルエンザ、COVID-19（急性呼吸器感染症定点）



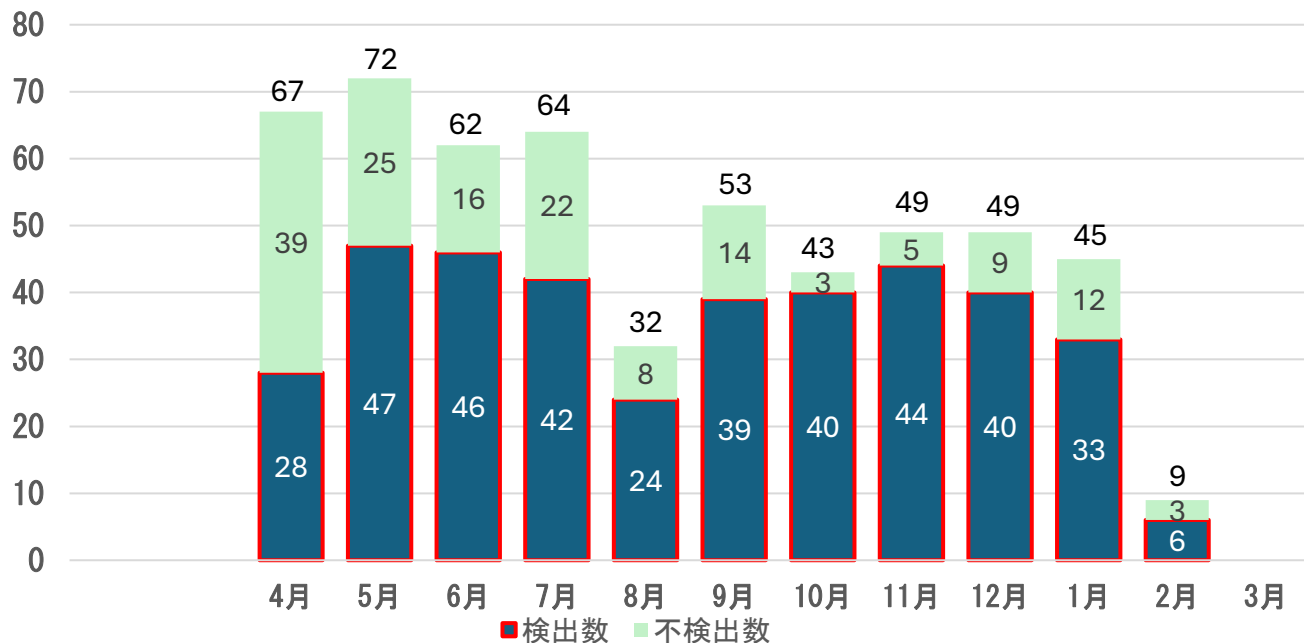
(2) 伝染性紅斑（小児科定点）、マイコプラズマ（基幹定点）



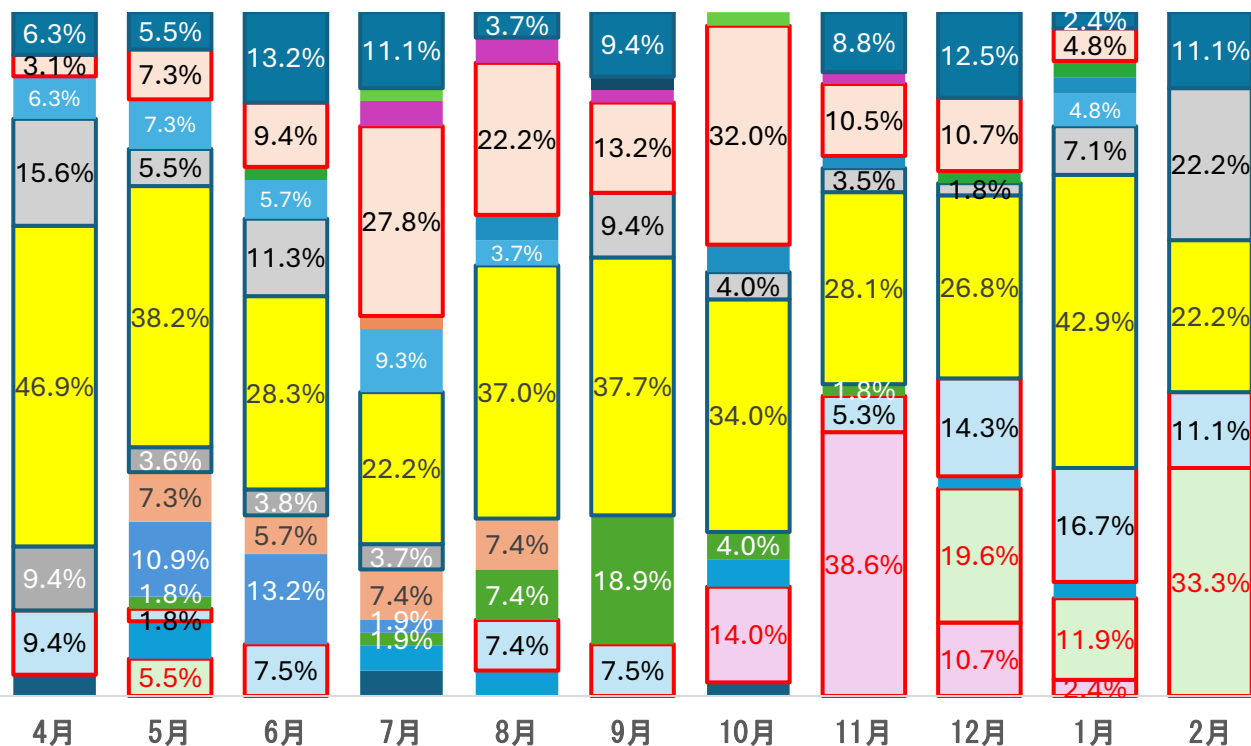
5 病原体検出状況

病原体・急性呼吸器感染症（ARI）定点 集計（基準日：検体採取日）

【月別検出状況】



【月別検出割合】



- インフルエンザウイルスA型 (H1pdm)
- インフルエンザウイルスB型 (Victoria)
- RSウイルス
- パラインフルエンザウイルス (3型)
- ヒトメタニューモウイルス
- アデノウイルス
- ヒトコロナウイルス (229E型)
- ヒトコロナウイルス (NL63型)
- ヒトパレコウイルスA (1型)
- ヒトパレコウイルスA (型別不可)
- インフルエンザウイルスA型 (H3)
- SARS-CoV-2
- パラインフルエンザウイルス (2型)
- パラインフルエンザウイルス (4型)
- ライノ/エンテロウイルス
- ヒトボカウイルス
- ヒトコロナウイルス (HKU1型)
- 肺炎マイコプラズマ
- ヒトパレコウイルスA (5型)
- ヒトパルボウイルスB19